

地域開発特別委員会会議録

日 時 平成25年2月8日(金) 議員全員協議会終了後

場 所 議長応接室

協議事項

- 1 地域開発特別委員会の今後について
- 2 その他

出席委員

委員長	鈴木	明子	君	副委員長	横沢	英一	君
委員	永田	公由	君	委員	西條	富雄	君
委員	務台	昭	君	委員	金子	勝寿	君
委員	中原	巳年男	君	委員	五味	東條	君
委員	中村	努	君	委員	塩原	政治	君

欠席委員

委員 青柳 充茂 君

説明のため出席した理事者・職員

なし

議会事務局職員

事務局次長 宮本 京子 君 議事調査係長 上村 英文 君

午後4時51分 開会

委員長 お疲れのところ、御苦労さまでございます。地域開発特別委員会ということでお集まりいただきました。

1 地域開発特別委員会の今後について

委員長 きょうは、協議事項といたしましては地域開発特別委員会の今後についてということで、5月で申し合わせ期間が変わるということで、そういうことで、この地域開発特別委員会を今後どうしていくか、継続していくのかやめるのかというようなことなんですが、皆さんから御意見をいただいて方向を定めていきたいと思しますので、よろしく願いをいたします。御意見ある方はどうぞ。

五味東條委員 いわゆる特別委員会は、中心市街地と地域開発と2つあるんだけど、要するに、これを両方つぶしちゃうという意味かい。

委員長 そうじゃないです。ちょうど切りかえの時期。

永田公由委員 切りかえ時期で、もしここで委員会をやめるということになると、3月議会で委員会の最終報告をして、そこで決めてかなきゃいけないんです。このまま委員会を続けていくということなら、別に問題ないものですから。そういうことで、きょう、両方とも開いていただいたんですよ。

五味東條委員 私はね、特に地域開発の場合は、今の林業プロジェクトのね、ああいった問題もありますので、これは地域開発でやる問題だと思うんですよ。今まで中心市街地の場合は、中心市街地活性化委員会で大門の、例えば交流センターなんかも予算まであそこで審議してるんですね、たしか。だから、今回でも、例えばの話、林業再生プロジェクトの予算が例えば出てきた場合に、これを、今までの中心市街地の慣例でいけば、これは地域開発でやるべきじゃないかとおれは思うがね。だから、要は、林業再生の今の問題というのは地域開発でやらなきゃいけないんじゃないかなと思うんだけど、いかがです、その辺は。

委員長 そのこともありますが、体育館等の問題は継続的に今。

五味東條委員 体育館だけでなく、例えば柿沢のブドウ園の時もね、これ地域開発でやったと思うんですよ。だから、要は、例えば今度の林業の場合もそうだし、中心市街地は大門の中心市街地の要するに補助金をもらってやる時には、中心市街地がしょっちゅう会議やってあったし。だから、おれはこの林業の場合は、もう全然地域開発を抜きでやってるような感じがするんだけどさ、その辺はちょっとおかしいんじゃないかなと思う。

永田公由委員 根本的にね、大きく違うところは、中心市街地のえんぱーく、市民交流センターの場合は、市の事業として取り組んだものですから、特別委員会で予算までつけてやってもらったんです。予算と言うかね、予算審議までやったという経過ですけど、今回の事業の場合は、主体が民間事業者だものですから、そこまで特別委員会でやらなきゃいけないかどうか。経済建設で、道路問題だとかそういったことは常任委員会で十分間に合うんじゃないかというような考え方もあるものですから、その辺の部分が根本的にちょっと中心市街地の特別委員会とは違うような気がするんですがね。これが、例えば市が主体になってやる事業だったら、当然特別委員会の中でやってもいいと思うんですけど。

ただ、五味委員が言われる、もしそういった予算的なものじゃなくて、開発全体に関するもので特別委員会でやるということになれば、また別の話にはなってますけどね。片丘、あそこの全体の開発というような考え方でやるとすれば、また特別委員会でそれは当然やってもいいと思いますけど。その辺についてはやっぱり、担当課なり推進本部のほうと議会のほうでちょっと調整をさせていただいて、向こうの考え方もあるものですから、まだ5月まで日がありますので、どうですか。理事者側とちょっと調整させてもらおうということで。

五味東條委員 例えば、今中心市街地活性化があつてさ、その委員会として、例えば今の駅前開発なんかの場合は、これは中心市街地でやってるだ。

永田公由委員 市街地でやってないですよ。常任委員会で、漸次。

五味東條委員 常任委員会でやってるだ。

永田公由委員 ええ、常任委員会で。

金子勝寿委員 基本的には経済建設でメインでやって、若干、駅前とか個別にちょっとという時だけ中心市街地活性化に出す場合だけ。

中村努委員 計画までは特別委員会でやった。

永田公由委員 具体的になってからは、市街地には諮ってもらっているよね。常任委員会でやって。

委員長 片丘のことは、今、議長が言われたような形をお願いをして検討していただくというようなことで預けていきたいと思いますが、いかがですかね。

こういうのを内容としてやるかやらないか。

永田公由委員 理事者側とちょっと調整してみないと、向こうの考え方もあるし、事業がね、市が主体だったら当然特別委員会でやってもいいんだけど、あくまで民間事業者だもんで、常任委員会でできるものだったら、道路の整備とかそういったことは当然常任委員会で十分だもんで、新しく道路をあけるとかそういうのじゃなくて、拡幅程度だもんでね。

委員長 だから、地域開発特別委員会の所管として加わるか加わらないかについては、今、議長が言われたような形で調整をしていただいて、必要があれば、5月までの時点で。

永田公由委員 必要なければ、このまま体育館でいく。体育館が主だけどね。

塩原政治委員 体育館は、全体に終わったようなものじゃないか。

永田公由委員 なんか市長ね、議案を出してるみたい。

五味東條委員 要は、地域開発っていうのは、要するに塩尻市内のいわゆる市有地だとかね、市で持ってる土地を開発しようというような場合に、例えばそれを有効利用しようというような場合には、地域開発が今まで担当やっておったもので。たまたま体育館のことに対しては、体育館がどこでやるかっていう時に、じゃあ、地域開発だっていうのは、開発じゃなくて何にもあれだけど、たまたま地域開発は何の仕事もないで、こっちでやってくれていって、だから体育館が地域開発になったわけであって。だから、例えば今の体育館の仕事しかないんだったらね、この地域開発が、別にそんな特別委員会なんてつくるはずだったって、そんな必要もないということになりゃしない。

永田公由委員 ただ、今も説明あったようにね、4月、6月では、もう用地の提供の方法が決まって、8月から造成に入っちゃうもんで、特別委員会の役目がなくなっちゃう。五味委員が言われる土地開発についてはもう決まっちゃうもので。その辺も踏まえなきゃ。

五味東條委員 だから、例えば用がないんだったらさ、特別委員会なんかいらんじゃん。あの時の体育館の場合は、そういう形で、じゃあ担当しようということになったと思うよ。

委員長 ですから、やらないとかやるとかというのは、ちょっと担当の組織ができていますので、そちらと議会と調整をしていただいて、その後ということでも、まだ5月までありますので、ということで、当面の中での地域開発特別委員会をなくしてしまわないで継続していくっていいですかね、それで。

中原巳年男委員 片丘のなんか口出す要素がないで。言えるとしたら、地代をもうちょっと上げてもらうようにしろくらいで、中身はだれも口出せないだもの。

中村努委員 そういうこと、基本はね、継続ということでもいいと思うんだけど。確かに今回のプロジェクト自体はね、そんなに特別委員会までつくってということではないかもしれないけれども、あれは、林業の再生からこれからの余熱利用から、ものすごい幅広い問題であったり、現状でほかのところであまりうまくいっていないような例も聞いたりするじゃないですか。そういったところを経済建設委員会だけでそれを全部飲み込むっていうのは、ボリューム的に無理だと私は思っているんで、そこまで広げた意味でね、恐らく今後の特別委員会でね、検討項目にしているのかなというふうに思っています。

永田公由委員 それで、そういうことも踏まえて、ちょっと理事者のほうと。

副委員長 私はですね、やっぱりこれからも区画整理とかですね、工業団地の造成というようなことは12月の時にも確認したら、具体的に考えてるよということでしたし、それで、これから特に広丘のほうのね、まちづくり、あれは向こうの部会になるのか、私もわからないんですが、その大事なあれもあるし、どっちが担当するかはね、今後しっかりあれとしても、そういう課題はいっぱいあるもんで、ぜひと思いますがね。

委員長 じゃあ、そういうことで集約をさせていただいて。そういうことっていうのは、委員会をすべて存続するというので、よろしくお願ひしたいと思います。

副委員長 実はですね、2年間やっていただいたわけですが、特に体育館の問題でね、皆様に御苦勞していただいたわけですが、それで、このままですね、はい、さようならっていうわけにもいかないものですから、できれば、向こうの委員会も何か軽くということを考えておられるようだものですから、またそこら辺、ちょっと調整させていただいて、どうでしょうか。

〔「お任せ」の声あり〕

委員長 また御提案させていただくことになると思いますが、よろしくお願ひいたします。どうも御苦勞さまでございました。

2 その他

議会事務局次長 今、懇親会のお話も出ましたんですけども、委員の皆さん方にこの2年間ずっと積み立てをしていただきまして、2月までの会費の中で69万3,000円ありますので、懇親会が済んだ後は、委員のほうに返金をさせていただきます。ここで、メンバーがまた5月の構成で変わりますので、もう3月の報酬からは引かないで2月でおしまいさせていただいて、それで後、均等にお返りするような形にさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

午後5時01分 閉会

平成25年2月8日(金)

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

地域開発特別委員会委員長 鈴木 明子 印